

道の駅「風の丘米山」の基本構想の一部変更について

産業振興部商業観光課

道の駅「風の丘米山」の再整備に当たり、平成 30（2018）年度に基本構想を策定し、道の駅エリアに隣接する民間事業者との連携による再整備を目指すこととしています。

令和 3（2021）年 10 月、民間事業者の新親会社への事業譲渡完了後、民間事業者、道の駅を所管する国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所との意見交換を重ねて、次のとおり基本構想の一部に変更を加えることとしました。

今後は、一部変更を加えた基本構想をベースに、その具体化に着手していきます。

1 変更の背景

道の駅エリアに隣接する民間事業者の事業譲渡

2 主な変更点

(1) 現日本海フィッシャーマンズケープの国道 8 号に隣接するエリアの一部を道の駅に編入

ア 現日本海フィッシャーマンズケープの商業施設を民間事業者により機能集約・再配置

イ 道の駅として必要とされる施設（情報発信及び衛生設備施設を整備）を市が整備

ウ 動線等を踏まえた各施設の配置及び市有地とするエリアを検討し、道の駅エリアと商業エリアに区分

(2) 現道の駅エリアは最低限の整備

現在休止中の道の駅エリアは、将来的なインターチェンジの移設を念頭に、市が衛生設備施設などを整備

3 市と民間事業者の主な役割

一体的な道の駅とするための連携・調整を基礎としつつ、主に次の役割分担により再整備を進めていく。

(1) 市

ア 道の駅への編入に必要な用地の取得

イ 道の駅に必要とされる施設（情報発信施設、衛生設備施設）の整備

ウ 民間事業者が行う商業施設の再整備への財政的支援

(2) 民間事業者

- ・ 商業施設の機能の集約と再編

4 留意事項

柏崎市コレクション展示館 3 館は、道の駅として必要とされる地域連携機能の役割を果たす施設として位置付けられていることから、道の駅再整備を進めていく中で、商業エリアとの連携を図りながら、引き続き運営していきます。

5 参考資料

道の駅「風の丘米山」再整備基本構想改訂版（案）概要